

## 『仲間のおかげで実現！親子で韓国ホームステイへ』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS」のメルマガ第 38 号

この週末はセルラス関東のフェスティバル 2016 でした。小 5 以上の青少年が 3 回の準備会を経て考え運営しただけあって、体験・参加型の会はとっても楽しく、大人も子供も一緒に楽しみました。

私は、体調を崩したメンバーが来年はメヒコ交流に行くことを目標に頑張るといった話や、長年多言語活動を楽しんでいるメンバーが多言語をやってよかった話、なぜセルラスをやっているか自分なりに話してみたりと、ディスカッションに刺激を受けました。

### ◇◇仲間のおかげで実現！親子で韓国ホームステイへ◇◇

今年も年末に韓国ホームステイ交流とメキシコ交流が開催されます。

「海外とは縁遠い生活をしてきた私が、まさか、子連れで海外ホームステイなんて！」と、ご自身の変化に驚いているメンバーの、交流参加を決めるまでをご紹介しますと思います。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラス メルマガ』第 38 号の目次です。

---

#### 【目次】

≪1≫『韓国交流への参加を決めるまで』

≪2≫ セルラス インフォメーション

---

#### ≪1≫『韓国交流への参加を決めるまで』

東京都世田谷区在住 岡本さん（家族構成：夫、小 1 娘）

今年の年末に、韓国交流に娘（小 1）と行きます。

韓国交流に行く決意をさせてくれたのは、セルラスの、特にピアザの、仲間です。

ピアザでの交流がなければ、ホームステイは「いつか行ってみたい」という空想だけで、実行には移さなかったのではないかと、思います。

参加を決めるまでの自分の変化を振り返ってみたいと思います。

私はあまり海外には縁のない生活をしてきました。ホームステイ経験はないですし、海外旅行も数回程度。

せっかく旅行しても、いつも言葉の壁に玉砕。外国への憧れはあるものの、海外に行くのは難しい、という高くて頑丈な心の壁を築いていました。

私が入会したのは 2 年前の 7 月で、夏の国際交流を控えている時期でした。ピアザで小学生の韓国交流のプレゼンテーションを聞きました。

韓国での体験を楽しそうに話す小学生を見て感心しました。小学生が 1 人で、言葉の通じない外国に行けるということに、かなり驚きました。

でも、この時はまだ、娘が 4 年生になったら経験させてあげたいなというところで止まっていて、自分事ではありませんでした。

その後も体験談を聞く機会が続きました。聞いていると、「多言語活動をしているのだから、いつかは行ってみたい」という気持ちは芽生えるのですが、  
仕事で忙しく日頃の活動もままならない自分が行くのは難しいように感じていました。

そんな中去年、所属ピアザのAさん親子が、韓国交流に参加しました。Aさんは仕事が大変お忙しい方でした。でも、お子さんが中学生になる前にどうしても…ということで、参加を決められて、忙しい中を縫って準備に励んでいました。  
その姿になんとか親近感を抱き、ものすごく応援したい気持ちになりました。  
ピアザで韓国語を集中して取り組んだり、一緒にお土産を作ったり…と、まるで自分が韓国交流を控えているような気持ちを味わわせてもらいました。

帰国後、Aさんは「言葉は全然ダメだった。出てこなかった、準備不足だった…」と報告されました。しかし、よくよく聞いていくと、韓国語しか話せないアツパ(お父さん)とチメ(日本でいうところの晩酌のようなもの)を楽しみ、いろんな言葉を交えて、子どものことや野球のことで盛り上がった、という体験が出てきました。  
それを聞いたメンバーが「それ、コミュニケーションとれているじゃない！言葉が育っているよ！」とフィードバックして、Aさんご自身が体験されたことの意味を改めて考える…という循環を目の当たりにしました。

言葉が追い付かなくても、コミュニケーションを取ってみる体験を「面白そう」と思えたのはこの時が初めてでした。それまでは「きちんと話せなければコミュニケーションはとれない」と思い込んでいたのだと思います。  
また、体験したことをシェアする場があるセルラスという環境がいいな、と改めて感じました。  
シェアする人は体験を整理するきっかけになりますし、聞く人にとっても、生の体験談を聞くことは、疑似体験となって小さい場数をたくさん踏ませてもらっているようなものだと思います。

その後も、仲間たちが続々と外国に出かけていき、様々な体験をシェアしてくれました。  
誰かの交流機会のたびに、準備をして、報告を聞いて…を繰り返していくうちに、私の中にあった壁の高さがどんどん低くなっていきました。

そんな中で、漠然としていた「いつか行ってみたい」という気持ちが、「私も行きたい。どうしたら行けるだろう？」に変化していきました。  
そして、そのタイミングを待っていたかのように、私にとってベストな時期での韓国交流の日程が発表され、即申し込みをしました。

セルラスに入っていなかったら、ピアザでの交流が無かったら、私の人生に「海外ホームステイ」も「小学生の娘と2人で海外渡航」も現れなかったと思います。

今は、交流に向けて娘と準備に励んでいます。楽しみと不安が半々です。特に、言葉の面では、今まで真面目に取り組んでなかったツケで、かなり不安です(笑)。  
それでも、うまくいっても、いかになくても、経験したことすべてが自分と娘にとっての宝物になると確信しています。その確信が持てたのは、これまで体験談をシェアしてくれたセルラス、ピアザの仲間のおかげです。  
出発まで皆さんに助けてもらいながら、楽しんで準備を進めたいと思います。  
帰国したときに、私の中にある心の壁がどうなっているのか、楽しみです。

## 《2》セルラス インフォメーション

### ◆ フェスティバル 2016 ◆

セルラスの大きなイベントのひとつ、「フェスティバル」。

関東は今週末に大盛況のうちに終了し、残すは関西のみとなりました。

企画・運営から青少年を中心に準備しています。

参加ご希望の方は、セルラス本部事務局にお申し込みの上ご参加ください。

\* 関西 12月11日(日)13:00~16:30 会場: 尼崎

お申込み先: セルラス本部事務局 TEL03-5333-8202

※機関誌 CELULAS 第5号が発刊されています。

セルラスの活動に目覚めたお父さんや理事長の声も載っていて、これ1冊でセルラスの今を感じてもらえる作りになっています。ぜひご一読ください。

<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

\*\*\*\*\*  
このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育講演会・セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。  
セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただく為発行しています。  
日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。